

維持管理計画表

項 目	管 理 方 法
性状の分析及び計量	廃棄物はマニフェスト及び目視により確認し、搬入時に計量します。
能力以上の投入防止	廃棄物はホッパから定量的に投入し、過剰投入を防ぎます。
事故の防止	運転マニュアルに沿って稼働させ、また日常点検及び作業日誌により事故を防ぎます。
定期的な点検、機能検査及び清掃など	施設は日常点検及び定期検査にて機能維持を図ります。また、清掃を徹底します。
飛散及び流出防止	廃棄物は保管施設にて保管し、飛散及び流出を防ぎます。
悪臭の防止	廃棄物は保管施設にて補完します。また、廃棄物は完全燃焼させ、悪臭の発生を防ぎます。
外注などの発生防止	害虫の発生防止のため、施設の清掃を実施します。また、殺虫剤を散布します。
騒音及び振動の防止	低振動・低騒音機器を導入します。また、過剰運転をせず騒音及び振動の発生を防ぎます。
防 火	消火設備を設置し、緊急時は自動停止します。
放流水、ばい煙、pH等の定期的な検査	排ガス NO ₂ 、SO ₂ 、CO 濃度は常時測定します。記録は保存し閲覧可能とします。
記録及び保存	点検記録、作業日誌は5年間保存します。
廃棄物の投入	廃棄物は外気と遮断した状態でホッパよりコンベアで定量ずつ供給します。
燃 焼 ガ ス 温 度	燃焼ガスは摂氏 800℃以上保ちます。また運転開始時は指導バーナーにより速やかに炉温を上昇させます。
燃焼ガス温度測定及びCO濃度測定	測定装置により燃焼ガス温度及び排出ガスのCO濃度測定を常時実施します。
冷 却 装 置	燃焼ガスは冷却塔により 200℃以下に冷却します。
排ガス中のダイオキシン濃 度	ダイオキシン濃度は 0.1ng/Nm ³ 、TEQ 以下となるよう償却します。
ばいじん及び焼却灰の貯留	ばいじんと焼却灰は分離してホッパにて貯留します。ばいじんはセメント原料として使用し、焼却灰は埋立処分します。

防災計画表

項 目	計 画 内 容
飛 散 及 び 流 出 防 止	廃棄物はホッパにて貯留し、コンベアにて焼却炉へ投入されます。焼却灰は灰ホッパに貯留されます。保管施設以外での保管はいたしません。
日 常 運 転	運転マニュアルに沿って施設を稼働させます。常時施設には作業員を配置し運転状況を把握します。
社 員 教 育	施設及び関係法令の講習会を定期的を実施し、社員の能力向上に努めます。
施 設 へ の 立 ち 入 り	施設へは関係社員以外は立ち入り禁止とし、立ち入り禁止の掲示板を設置します。
機 能 状 態 の 把 握	日常点検及び作業日誌により機能状態を把握します。また、定期検査を実施し機能維持に努めます。
防 火 設 備	自動火災警報装置及び消火器等設備を備えます。
緊 急 時	緊急時は自動停止し、原因の把握及び復旧が完了するまで、運転を再開しません。